

2022年1月20日

課題名：正常新生児における近赤外線分光法（時間分解分光法）を用いた
脳組織酸素飽和度の評価

◆研究の目的と概要◆

近赤外線分光法による脳組織酸素飽和度の評価は、成人の集中治療管理に使用され、小児や新生児の脳循環の評価に用いられる報告が増加しています。しかし、新生児の基準値に評価されている研究はありません。当院では、正常新生児の脳組織酸素飽和度を調査することで基準値の評価を行い、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年2月から、2022年3月までの間に出生した正常新生児。

◆研究に使用される情報◆

在胎週数、出生体重、日齢、性別、分娩様式、母体合併症、前額部の tNIRS-1 測定値（酸素化ヘモグロビン濃度、脱酸素化ヘモグロビン濃度、総ヘモグロビン濃度、組織酸素飽和度）、タンデムマス結果、先天性心疾患の有無、1か月健診での身体診察評価

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

小児科 研究責任者 岩崎恵理子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明